

時間割コード	G2B50402	開講年度	2026				
授業題目	動物生命科学					担当教員	鏡味 裕 他
英文授業名	Animal Life Science						生井 楓
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学生	全
講義室	東洋計器講義室（20番講義室）		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	動物生命科学の基礎と応用の理解を目標とします。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	家畜・家禽や実験動物・野生動物について、私たちの生活に広く密接に関係している動物体の構造や発生・生殖・免疫などの生命現象の基礎的事項や動物実験への応用並びに実験動物の作製、野生動物との関わり等についてリレー形式で講義します。						
(5)授業のキーワード	動物、生命、畜産、遺伝、進化、免疫、生殖、						
(6)授業計画	第1回 動物生命科学概要（鏡味裕）オンデマンド講義 第2回 生命科学の動物生産への応用（鏡味裕） 第3回 大学で動物を育てる（上野豊） 第4回 動物の体のしくみと進化①（鈴木俊介） 第5回 動物を使って実験する（上野豊） 第6回 動物の体のしくみと進化②（鈴木俊介） 第7回 動物の体のしくみと進化③（鈴木俊介） 第8回 生殖細胞と卵子の形成（高木優二） 第9回 精子の形成と受精（高木優二） 第10回 実験動物（富岡郁夫） 第11回 遺伝子改変動物・疾患モデル動物（富岡郁夫） 第12回 微生物が動物の健康を形作る（生井楓） 第13回 機能的微生物をデザインする（生井楓） 第14回 免疫学の基礎（田中沙智） 第15回 免疫と病気の関係。授業アンケート実施（田中沙智）						
(7)成績評価の方法	授業への出席、各回のレポート・小テスト、等を総合的に評価します。						
(8)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している。（90点以上） 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある。（80～89点） 良：授業の達成目標水準よりやや上にある。（70～79点） 可：授業の達成目標水準にある。（60～69点） 不可： 授業の達成目標水準にない。（59点以下）						
(9)事前事後学習の内容	事前学習：各回の内容の十分な予習。 事後学習：各回の内容の十分な復習。						
(10)履修上の注意	十分に予習・復習し授業の理解を深めてください。						
(11)質問,相談への対応	各回も授業内容に関しては、当該担当教員に直接質問、相談して下さい。						
(12)授業への出席	すべての回に出席することを前提とします。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	各回の教員の指示に従って対応して下さい。						
【教科書】	指定しません。						
【参考書】	授業の中で紹介します。						